

感染看護学演習

[演習] 1年 後期 選択 30時間 2単位

《担当者名》 塚本 容子 [yokot88@hoku-iryo-u.ac.jp]
山田 拓[yamada_k@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

この演習は、感染症看護専門看護師の役割遂行に必要とされる知識・能力を養うことを目的にしている。主に2つのパートに分けて学習する。Population Basedでの看護、特にアウトブレイクの調査のプロセスについて学習する。もう1つは、易感染患者や感染症を持つ患者・家族に対する個別性を大事にした看護である。それぞれ、基盤となる理論・枠組みを押さえながら事例を通じて専門看護師の役割を鑑みながら、学習する

【学修目標】

- 1) アウトブレイク発生時の調査方法を理解し、感染症予防・管理の方策について検討することができる
- 2) 病院外で療養する高齢者の感染予防・管理について、生活の質を鑑みた看護について検討することができる
- 3) 侵襲的な処置を受けた患者の感染予防そして治療について検討することができる
- 4) 事例検討を通じて、学習した内容を振り返り、専門看護師の役割遂行能力について考察できる

【学習の進め方】

すべてのテーマに置いて、事前の学習課題を提示する。実際の授業では、事前の学習課題のディスカッションを中心に進めることでアクティブラーニングを推進する

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	フィールド疫学 (Field Epidemiology) 概論	疫学の知識に基づいたアウトブレイク発生時の調査方法や、予防・管理方法の基礎を学習し、事例検討を行いながら、感染症看護専門看護師の役割について検討する	塚本 山田
2 3 4	アウトブレイク発生時の調査方法・プロセス	アウトブレイク発生時の調査方法におけるプロセスについて学習する。実際発生した過去の事例において文献から、そのプロセスについて分析する	塚本 山田
5 6 7	アウトブレイク発生時の対応・管理	感染症発生時の管理について、事例検討を行う。事例を通じて、感染症看護専門看護師の役割の一つである実践について検討する 1) 季節性インフルエンザへの対応 2) 予期しない感染症発症時への対応 3) 自然災害やバイオテロ発生時への対応	塚本 山田
8 9	高齢者の感染予防・管理	一般病院外（老人介護施設や在宅など）で療養する高齢者の感染予防・管理において、今後の看護課題について検討する。合わせて病院外での抗菌薬の適正使用について考察する。その上で、在宅や老人介護施設など資源が限られた療養場所における専門看護師としての相談、及び調整の役割を考察する	塚本 山田
10 11	手術部位感染（SSI）予防のための看護	術後患者のSSI予防のための、ケアバンドルを踏まえた上で、今後の看護課題について検討する。手術に関わる多職種との協働について検討し、その中の専門看護師としての調整及び教育的役割を考察する	塚本 山田
12 13	侵襲的処置に対する感染予防・管理	胃瘻造設・気管切開・ストーマ造設など、さまざまな侵襲的処置を受けた患者に対する感染予防、そして感染症が疑われるときの対応を、医療の場を問わず対応できるように、検討する。専門看護師としての実践を考察し、その上で、他の看護職に対しての教育的かわりを考察する	塚本 山田
14 15	まとめ（事例検討）	学生が1事例を選択し、学習した内容を振り返りながらプレゼンテーションを行う。プレゼンテーションの視点としては、専門看護師としての役割を考察した内容を含める	塚本 山田

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

プレゼンテーション（30%）、課題レポート（70%）

【教科書】

資料を配布する

【参考書】

随時提示する

【学修の準備】

事前の学習課題を課すので、講義前に準備しておくこと

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、看護学における高度な専門性と研究能力を修得するという看護学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。